

令和6年度学校経営計画

学 校 名 東広島市立平岩小学校

学校長名 神重 修治

I 学校の状況

学級数	19学級	児童・生徒数	471名	教職員数	38名
メールアドレス		hiraiwa-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp			
ホームページアドレス		http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/hiraiwa_sho/			

II 教育目標

「かしこく やさしく つよく」生きる子どもの育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

平岩小で学んでよかったと思える学校の創造

- 【めざす学校像】 学び合い笑顔で活力のあふれる学校
 【めざす児童像】 学び合い 知・徳・体のバランスのとれた子ども
 【めざす教職員像】 人間性と指導力を学び合い「チーム平岩」として
高まり合う教職員

～ 学び合い 共に高まり合う ～

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
かしこく	1	考えて豊かに表現する子ども	主体的・対話的で深い学び」を創る授業実践の充実	○「個別の課題追究」と「学び合い」を工夫した単元構成 ○社会科・国語科における問いを重視した授業実践	・まとめ、振り返りの評価が B 評価以上の児童 80%以上 ・児童アンケートの肯定的評価の児童 80%以上
			基礎・基本の定着	○家庭学習の習慣化（4 学年以上の家庭学習の計画と実施） ○読書活動の推進 ○学習ソフト（ミライシード）を活用した学習の定着 ○平岩ゼミ（学力補充）の実施	・単元テスト（国語・算数）における各学年目標達成児童（低学年85点以上，中学年，高学年80点以上の児童をクラスの8割以上）
やさしく	2	人の気持ちが分かる子ども	人に対する言葉遣いを磨く取組の充実	○生活委員会による「あったか言葉」取組の実施 ○生活委員会・保護者・地域によるあいさつ運動の推進	・学校評価アンケート（保護者の回答）における肯定的評価80%以上

			支持的風土のある 学級づくりの推進 ～子どもの居場所 を学校につくる～	○身の回りの整理・整頓の取組 (筆箱・机の中・ロッカー・は きもの) ○支持的風土を育み、目標をも って生活するためのSSTの計 画的な実施	・学級活動年間計画に基づ くSSTの実施100%
つ よ く	3	最後までやり ぬく子ども	運動に対する意欲 の向上	○継続的な体づくりの啓発 (体育朝会等) ○「平岩マラソン」や「なわと び」の期間集中での実施 ○体育科の学習における「基本 的な運動」を取り入れた授業 づくり	・運動・生活に関する児童 アンケート調査による肯 定の評価を80%以上
			基本的な生活習慣 の確立	○生活習慣を整える(メディア に対する意識の啓発) ○食に対する意識の向上(食育 授業の実施)	・運動・生活に関する児童 アンケート調査による肯 定の評価を80%以上
信 頼 さ れ る 学 校	4	信頼される学 校づくりと高 まり合える教 職員	家庭・地域との連 携	○学校教育活動や学校運営協 議会における情報発信 ○組織的な報告・連絡・相談体 制の充実	・学校運営協議会委員、保 護者アンケートの肯定 的な評価
			効率的な業務の推 進と子どもと向き 合う時間の確保	○企画委員会、学年主任会にお ける計画的な提案 ○時間外勤務の縮減を意識し 見通しをもった働き方 ○研究方法の効率化とまとめ の工夫 ○授業時数を踏まえた計画的 な授業実施	・意欲をもって業務を行う ことができる教職員を 85%以上 ・高まりあっていると感じ る教職員を85%以上

V 学校評価

1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

（1）校内評価委員会

（校長・教頭・教務主任・研究主任・生徒指導主事・保健主事・その他校長が必要と認める職員）

（2）学校運営協議会

（元校長・住民自治協議会会長・地域センター長・民生児童委員・PTA会長・前PTA会長・磯松中学校長・地域学校協働活動推進委員、本校校長、本校教頭、CS推進委員）

2 学校評価自己評価及び学校運営協議会の実施計画（公表方法を含む）

月	内 容
4	学校評価自己評価表作成（全教職員で学校評価自己評価表についての共通理解を図るとともに、業績評価とリンクさせ、目標を明確に持たせる。）
5	業績評価（当初申告）面談
6	第1回学校運営協議会（学校経営方針の説明と意見交換）
7	児童・保護者アンケート1回目実施
7～9	評価結果を各部で分析、後期の改善策を考える。学校評価委員会（校内）を経て全教職員へ周知する。 保護者・地域へ学校だより・ホームページで公表する。 第2回学校運営協議会（経過を報告と意見交換）

10	業績評価（中間申告）面談
12	○児童・保護者アンケート2回目実施 評価結果を各部で分析，成果と課題を明確にして次年度に向けての計画を立案する。校内評価委員会を経て全教職員へ周知する。
1～2	第3回学校運営協議会 （評価結果を報告し，次年度の学校経営に向けての意見交換） ○業績評価（最終申告）面談
3	1年間の学校評価自己評価結果と今後の方向性を，保護者・地域に学校だよりやホームページを通して公表する。